

令和6年度 茂木町立逆川小学校 学校評価書

1 教育目標 よりかしこく（知） よりたくましく（体） よりあたたかく（徳）

2 学校経営の方針

【基本方針】

安心・安全な教育環境の下、焼森精神を受けつぎ、たくましく未来を切り拓く児童を育む。

（１）確かな学びを育む教育の充実

児童が主体的に学ぶ授業の改善を図り、基礎・基本の定着とともに活用力を育み発揮していく児童の育成を目指す。

（２）健やかな体を育む教育の充実

健康教育の充実、体力の向上に努め、心身共に健康でやる気と根気に満ちた、たくましい児童の育成を目指す。

（３）豊かな心を育む教育の充実

互いを認め合い、高め合う学級・学校づくりを推進し、児童一人一人の自尊感情や自己肯定感の向上を図るとともに、情操豊かな児童の育成を目指す。

（４）地域との連携・協働の推進

地域との連携・協働を推進し、教育活動の充実を図るとともに、ふるさとへの愛着と誇りをもった児童の育成を目指す。

（５）教職員の資質・指導力の向上

使命感、責任感を自覚し、研究と修養に努め、自らの資質・指導力の向上を図るとともに、同僚性の高い職員集団を目指す。

3 今年度の重点目標

1 確かな学びを育む教育の充実

- (1) 育成すべき資質・能力を明確にした「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の推進
- (2) 学習内容の確実な定着を図るための支援の工夫
- (3) キャリア教育の充実

2 健やかな体を育む教育の充実

- (1) 生涯を見通した健康教育の充実
- (2) 継続的な体力づくりの推進
- (3) 安全教育・防犯教育の充実

3 豊かな心を育む教育の充実

- (1) 「生命尊重」を重点とした全教育活動における心の教育の推進
- (2) 自尊感情、自己肯定感を高めるための工夫
- (3) 読書活動の推進

4 地域との連携・協働の推進

- (1) ふるさと逆川への誇りと愛着の育成
- (2) 広報活動の推進
- (3) 地域との連携・協働体制の整備

5 教職員の資質・指導力の向上

- (1) 信頼される教職員としての自覚
- (2) 学校課題解明のための校内研修の充実

4 評価表（評価のAは優れている Bは良い Cは改善の余地あり Dは要改善）

評価項目	観 点	児童	保護者	自己評価（教職員）		学校関係者評価	
				評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(△)
教育課程	地域・児童の実態を踏まえた創意ある教育課程を編成・実施したか。			A	<p>【達成状況】</p> <p>○時間割や日課の工夫により、授業時数が確保されていた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○学校の実態に合わせた日課の作成や、地域とともにある学校づくりをさらに推進できるようにする。</p>	A	<p>○登校時の準備時間等を考慮し、バス時間を早めるなど、児童の実態に合わせて改善されている。</p> <p>○学校行事や授業が実施できている。</p> <p>○運動会や学習発表会など、家庭・地域と連携した行事が実施できていた。</p> <p>○児童が楽しく学校生活を過ごせるよう、日課が工夫されていた。</p> <p>△時間的なゆとりも必要なので、内容の工夫、精選が必要。</p> <p>△創意ある活動の継続化。</p>
学習指導	<p>児童の学び合いを意識した授業改善、言語活動の充実や個別指導等の工夫により、児童の学力や学ぶ意欲が向上したか。</p> <p>道徳教育や人権教育、読書指導により、心の教育の充実に努めたか。</p>	A	A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○児童が主体的・協働的に学べるような授業づくりを工夫し、児童の学び合いを促し、思考力判断力・表現力を身に付けられるように授業改善に取り組んだ。</p> <p>また、I C Tを活用した授業を展開することができた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○本に親しむ環境づくりを継続的に行い、読書好きな児童が増えるような取組を進めていく。</p>	A	<p>○先生方が各種研修に積極的に取り組み、授業が工夫されて学習面で成果が出ている。</p> <p>○少人数を複数の先生で見ることにより、個に応じた指導ができていた。</p> <p>○授業の中で意見を出しやすい雰囲気がある。</p> <p>○プロジェクタースクリーンを活用した授業でわかりやすい。</p> <p>○発表する力がついたとする児童が多い。これからも力を入れて欲しい。</p> <p>○保護者と学校が連携し児童に家庭学習を取り組ませていて良い。</p> <p>○学校として読書に力を入れている様子がうかがえる。</p> <p>○児童と先生の信頼関係により、授業に活気があり、学ぶ意欲が向上している。</p> <p>△自分の考えを書いたり発表したりすることの指導は引き続き必要。</p> <p>△本は文字を読むのが苦手であれば、図や写真の多い物を勧める。</p> <p>△読書習慣が少なくなっているようなので、家庭で親子読書の時間を設けるようにしたい。</p>
キャリア教育	児童が社会性を身につけ、自分の生き方を考える教育を推進したか。	A	A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○教育活動の中で、地域の方と関わる体験活動を行うことができた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○教育活動や体験活動をとおして、自己や他者への関心を高め、夢や目標を持てるような取組を推進する。</p>	A	<p>○地域の方を招いての活動が増え、大人の様子を見たり、感謝の心を持ったりすることができていた。</p> <p>○運動会では一人一人一生懸命頑張っていた。</p> <p>○「大縄跳び大会」など、目標達成に向けて頑張る姿が見られて大変良かった。</p>

							<p>た。</p> <p>△保護者に将来のことについて話す機会を増やせるように啓発する。</p> <p>△今後とも特別活動を通して、リーダーシップの育成の努めて欲しい。</p> <p>△夢や目標を持てるような取組の具現化。</p>
児童指導	<p>学業指導や教育相談、児童指導の充実により、子どもの自尊感情や自己肯定感を高めたか。</p>	A	A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○普段の観察を軸として、教育相談やＱ－Ｕテストを活用し、児童の悩みや相談に寄りそうことができた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○帰属意識の高い学級・学校づくりを推進し、児童一人一人の自尊感情や自己肯定感の向上を図るとともに、情操豊かな児童の育成を目指す。</p>	A	<p>○学校がアットホームな雰囲気、子供たちが明るく元気である。</p> <p>○あいさつ、特に「ありがとうございます」がよいできる。</p> <p>○上級生が良い手本となって下級生が受け継ぐところ逆川小の良い伝統だと思う。</p> <p>○子供たちの元気一杯のあいさつがとても気持ちよい。</p> <p>○縦割り班の活動を通しての異学年との人間関係作りがしっかりとできている。</p> <p>△家庭と情報交換の継続(子供たちの活動の様子を知らせる)(トラブル発生の未然防止策)</p>
保健管理	<p>自分の健康や体力づくりに関心を持ち、行動できるよう支援したか。</p>	A	A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○児童が自主的に目標を決めて、運動に取り組むことができた。(持久走、縄跳びなど)</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○体力テストや身体計測の結果をもとに、児童が自ら成長を実感できる活動計画を立てる。</p>	A	<p>○全校での取組で体力が向上している。</p> <p>○大縄跳び大会で目標設定を子供たちが行うなど、励みになり意欲が高まった。</p> <p>○元気いっぱい外で遊ぶ姿が見られた。</p> <p>△生涯体育につながる指導をお願いしたい。</p> <p>△バス通学でどうしても活動量が少なくなりがちなので、教科体育以外の体づくりの活動をしっかり行って欲しい。</p> <p>△走力向上への取組。</p>
安全管理	<p>万が一の事故・災害に備え、自分の命は自分で守る指導を行ったか。</p>	A	A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○活動の目的やねらいを明確にして計画を立て、訓練を実施することができた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○児童も教師も危機に対して主体的に行動できる内容を訓練防災教育計画に取り入れる。</p>	A	<p>○引き渡し訓練の方法を変更するなど、いろいろな場面を想定した活動ができている。</p> <p>○避難訓練を実施して、危機管理ができている。児童も真面目に取り組んでいる。</p> <p>△自分の命は自分で守る、考えて行動することを引き続き身に付けさせる指導をして欲しい。</p> <p>△訓練の内容見直し、工夫などの変化も必要ではないか。</p>

特別支援教育	特別支援教育について理解を深め、適切な支援を行ったか。			A	<p>【達成状況】</p> <p>○外部機関、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、児童だけでなく保護者に対しても適切な支援を行うことができた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○個別の教育支援計画の活用を推進するために、「合理的配慮」「インクルーシブ教育」についての研修を年間計画に位置づけ、教員の理解促進と実践的な指導力の向上に努める。</p>	A	<p>○教職員の共通理解、カウンセラーとの連携がよくできている。保護者も相談できる体制がある。</p> <p>○「焼森賞」で支援を要する児童も認められる場がある。</p> <p>△「インクルーシブ教育」「合理的配慮」などは新しい言葉だと思うので、よく理解したり、保護者にも伝えたりする。</p> <p>△普通学級の中にも個別指導を要する児童がいると思うので、支援計画を作り活用したい。</p> <p>△マイノリティーとの関わりは、幼少の時からしっかりと取り組むことが大切。</p>
組織運営	学校経営方針を理解し、その具現化のために組織的に対応したか。	A	A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○職員間のコミュニケーションも良好で、気軽に相談や情報共有を行うことができた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○職員一人一人の学校経営に参画する意識を醸成し、学校教育目標の達成に向けチームとして機能できるようにする。</p>	A	<p>○先生方のコミュニケーションがよく、学校運営が機能している。</p> <p>○先生方が熱心で活気がある。</p> <p>△一人一人が学校を代表するように、グラウンド・玄関・職員室それぞれが学校の現状を代弁することを忘れないでほしい。</p>
研修	研究授業を初めとする研修に積極的に取り組み、授業力が向上したか。			A	<p>【達成状況】</p> <p>○学校課題解決に向けて、学力向上コーディネーターや学力向上推進リーダーと連携し授業力向上に努めることができた。また、教員の資質向上に向け、外部講師を招いた研修を取り入れることができた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○今年度の成果と課題を明確にし、児童、教師ともに資質・能力の向上ができるような取組を計画し、実践に努める。</p>	A	<p>○学力向上コーディネーターや学力向上推進リーダーとの連携により、授業改善に取り組んでいる。</p> <p>○タブレットをうまく活用して研修できている。</p> <p>△タブレット、デジタル教科書などをより生かせるような研修をして欲しい。</p> <p>△情報リテラシーが身につく指導を引き続きして欲しい。</p>
教育目標	学校評価を学校教育に生かし、目標の具現化に努めたか。		A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○昨年度の評価や児童の実態を踏まえた具体策が提示され、実践するとともに事後評価を行い、PDCAサイクルを回せるように努めた。</p> <p>【改善の方向性】</p> <p>○課題を共有し、PDCAサイクルが効果的に機能できるように努める。</p>	A	<p>○PDCAサイクルを生かし、児童や地域の実態に合わせて工夫改善がなされている。</p> <p>○一人一人が活躍できる、一人一人に寄り添えるところが小さな学校ならではの良いところだと思うので、引き続き指導をお願いしたい。</p> <p>△PDCAサイクルを行うには、より課題の発掘が必要。</p>
情報提供	学校だよりやホームページで学校の取組を積極的に発信したか。	A	A	A	<p>【達成状況】</p> <p>○学校だよりやホームページだけでなく、学年だよりや学級通信も定期的に発行し児童の様子を伝えるように努めた。</p> <p>【改善の方向性】</p>	A	<p>○学校だより、ホームページ、学年だより等で学校の様子を知ることができる。</p> <p>△学校だより等を地域の方にも見てもらえる機会が</p>

					○ホームページの効果的な運用について検討し、さらなる内容の充実に努める。		あると良い。(ホームページを見られない方もいる) △もう少しホームページの写真を多く載せてもらいたい。
保護者・地域との連携	保護者や地域人材・地域資源の活用に努め、「ふるさと教育」を推進したか。	A	A	A	【達成状況】 ○新しい取組(クリーン活動、落葉掃き、清掃支援)も増え、地域人材の活用を推進し「ふるさと学習」の充実に図ることができた。 【改善の方向性】 ○今年度の取組を継続し、さらに家庭・地域と連携しながら持続可能な取組にする。	A	○地域の方との交流が増え、「ふるさと学習」につながっている。 ○学習支援ボランティアコーディネーターとの連携による素晴らしい活動が行われている。 △いろいろな意見を持っている保護者もいると思うので、引き続き相談しやすい雰囲気の学校づくりをして欲しい。 △クリーン活動をもっとやって欲しい。 △キャリア教育などで地域の人材に協力いただいても良い。
教育環境整備	日常的な点検を通して、備品の整備や環境の整備・修繕を行ったか。			A	【達成状況】 ○日常的に点検をし、限られた予算の中で、適切に管理・修繕をするとともに、必要に応じて教育委員会と連携して環境整備に努めることができた。 【改善の方向性】 ○現有の備品を効果的に活用するとともに、関係機関と連携して環境を整えられるように努める。	A	○校舎内外がきれいに整備されている。 △樹木が多く、管理が大変かと思うがSAKAGAWAグリーンウォークラリー等で、学校の特色でもあるので大切にし、自然に親しめるようにしてほしい。 △児童が少ない中で、なかなか清掃が行き届かないかと思う。保護者・地域の人材の協力を積極的に呼びかけてもよい。 △設備の老朽化対策の継続

5 次年度に向けて

ア. 思考力・判断力・表現力等の育成のために、話し合い活動等の言語活動の充実に継続して取り組む。また、児童の主体的・協働的な学びの場を設け、自分の考えを話せるような環境づくりに努め、自分の考えを言えてよかった、書けてよかったと思える児童が少しずつ増加して行くことを目指す。町で目指している「自立した学習者」の育成に向け、「児童に自信をもたせる授業づくり」に努めていく。

イ. 読書については、定期的にふみの森の本を団体で借り、学級文庫を充実させるなど朝の読書や家読、読み聞かせなど、本に親しむ環境づくりに取り組んできた。また、親子読書など保護者の協力をもらい、成果がでてきた。児童が読書の喜びを実感し、読書を通じて未知の世界や考えを知ること、主体的に読書習慣を身に付けられるよう支援していく。

ウ. 元気なあいさつができていくという児童が増えてきている。また、校外や地域でも評価されている。あいさつができる学校にすることにより、家庭や地域社会でのコミュニケーション力を育み、社会全体のモラルや規範意識を醸成できるように継続的に取り組めるようにする。あいさつ運動や学校行事において学校のリーダーとしての上級生を育て、その伝統を受けついでいけるよう指導・支援を行っていく。

エ. 家庭学習は、学習習慣を定着することで学力の向上を図るとともに、よりよい生活習慣を形成する上でも必要で、将来に向けて必要な力を主体的に身に付けられると考えている。今

後もご家庭と連携し、取り組む内容等の工夫も含めて、根気強く継続して取り組んでいく。

オ. 児童に将来の夢を書かせたり、キャリア・パスポート等を活用して、目標をもたせて学校生活を送るように働きかけたりしている。いま学習していること、取り組んでいることが将来を支える力となることを意識できるようにして行えるようにする。

カ. 変化を前向きに受け止め、子供たちの学びを最大限に引き出すこと、主体的な学びを支援していけるような教師を目指し、同僚性の高いチームとして課題に取り組んでいけるよう努める。

キ. ボランティアコーディネーターとの連携で地域とのつながりを感じられる活動ができた。そのため、地域の方に支えられていると感じられる児童が増えてきたと考える。ボランティアとの活動を継続し、ふるさと学習をさらに充実させていく。

ク. 開校以来取り組んできた環境緑化の成果として多くの樹木が学校にある。それを活かした活動行うため、また、児童数の減少で環境整備が行き届かない現状を踏まえ、引き続き地域ボランティア等の協力を得て環境整備を行えるように働きかけていく。